

日本家族看護学会第19回学術集会 一般演題プログラム

口演1 表彰候補演題

座長：丸光恵（東京医科歯科大学）

藤野崇（近畿大学医学部附属病院）

演題番号・演題名	発表演者
O-01 死を意識せざるを得ないなかで困難な状況に陥っている患者・家族の持てる力が発揮されるための実践上の指針	恒吉さやこ
O-02 一時的消化器系ストーマを造設した患者の配偶者のレジリエンス	新田紀枝
O-03 在宅重症心身障害児を対象としたレスパイトケア利用が両親の健康関連 QOL に与える影響	西垣佳織
O-04 特別養護老人ホームにおける看護・介護職員の看取り体験：家族対応へのやりがいと負担の可視化	大野佳子

8日（土）13時30分～14時20分 第2会場

口演2 障がい児

座長：泊祐子（大阪医科大学）

涌水理恵（筑波大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-05 発達障がいの子どもの育てる母親への予防的育児支援プログラムの介入効果の検証	大橋幸美
O-06 熱傷後気管切開した自閉症のある児の退院に向けた家族への看護～山勢の危機モデルを用いて振り返る～	渡部美紗子
O-07 障害児を抱えながら自閉症児を支援する母親の療育体験の肯定的プロセス～自閉症児の母親支援への一考察～	佐藤弘江
O-08 医療ケアを必要とする児の在宅療養に向けての看護援助	高橋晴香

8日（土）14時30分～15時20分 第2会場

口演3 教育

座長：中久喜町子（東京医療保健大学）

深堀浩樹（東京医科歯科大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-09 看護ケアからみえる家族の代替可能性 ～可能性／不可能性をめぐる看護師の葛藤に注目して～	影山葉子
O-10 現任教育における家族システム看護の学習効果	田久保由美子
O-11 円環的視点の習得を目標とした家族看護教育プログラム	畠山とも子
O-12 円環的思考の修得を目標とした学習の効果～家族看護学習経験のない臨床看護師を対象として～	児玉久仁子

8日（土）13時30分～14時20分 第3会場

口演4 親になる人・同胞

座長：山本弘江（名古屋大学）

新井陽子（北里大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-13 妊娠中の母親の SOC（首尾一貫感覚）と父親の SOC	松下年子
O-14 産後うつ病の重症化を予防することを目的としたプログラムの開発と実施可能性の評価	池田真理
O-15 造血細胞移植における既婚同胞ドナーの困難性	三枝真理
O-16 全国小児がん患者・家族会のインターネットを利用した相談活動の実際	井上玲子

8日（土）14時30分～15時20分 第3会場

日本家族看護学会第19回学術集会 一般演題プログラム

口演5 精神・訪問看護

座長：式守晴子（静岡県立大学）

河原宣子（京都橘大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-17 精神疾患を有する母親がいる子どもへの支援ー精神科医療機関における専門職者インタビューからの質的分析ー	大野真実
O-18 アルコール依存症者の家族のターニングポイントー準拠枠の崩壊ー	越智百枝
O-19 電話相談によりがん末期の母を在宅で看取れた息子についての考察	池田良輔子
O-20 がん末期の独居者を在宅で看取るまでの息子への訪問看護支援ー夜間・時間外対応からー	篠原裕子

9日（日）13時00分～13時50分 第2会場

口演6 がん終末期

座長：長戸和子（高知県立大学）

山本則子（東京大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-21 最期の療養生活のあり様に揺れるがん患者とその家族と訪問看護師との対話を通した看護ケアの研究	古里倫子
O-22 母親が脳腫瘍の終末期にある家族のつながりを支える看護	津村明美
O-23 壮年期がん患者の在宅看取りにおける家族の取組みと成長	榎本美由貴
O-24 20年間看病した娘が終末期を迎える母親への看護	東樹京子

9日（日）14時00分～14時50分 第2会場

口演7 退院支援・緩和ケア・遺族ケア

座長：柳原清子（東海大学）

松本和史（東京大学医科学研究所附属病院）

演題番号・演題名	発表演者
O-25 要介護高齢者家族が自宅退院を可能にした家族レジリエンスを強化する看護介入の効果	林本久美子
O-26 一般病棟における終末期がん患者の在宅療養移行に向けての家族支援の阻害要因と促進要因	久保田千景
O-27 終末期患者の家族が看護師に求めるニーズ	橋本真由美
O-28 一般病棟に入院中の転移・再発消化器がん患者の家族における、ケアの満足度とQOLに関する研究	森下美紀
O-29 壮年期子宮頸癌患者の夫が死を受容する過程について～死別後のインタビューから看護のあり方を検討する～	小山弘恵
O-30 自殺による死別経験と東日本大震災を身近に感じる度合いに関する質的研究	笠原麻美

9日（日）15時00分～16時20分 第2会場

日本家族看護学会第19回学術集会 一般演題プログラム

口演8 小児・外科系

座長：中野綾美（高知県立大学）

山口桂子（愛知県立大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-31 先天性心疾患を持つ患児の世話を引き受けた祖父母の思い—その思いから祖父母への支援を考察する—	金丸華奈子
O-32 PICU の面会時間における家族看護の実態	新井朋子
O-33 先天性心疾患を持つ子どもの母親と看護師における認知的不協和に対する現状と課題	新畑明子
O-34 緊急入院した小児の家族の心理的变化 ～入院から退院まで～	中尾明子

9日（日）13時00分～13時50分 第3会場

口演9 小児・パートナーシップ・文化

座長：濱田裕子（九州大学）

佐藤伊織（東京大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-35 退院後の小児がんの子どもが日常生活を拡大する際の母親のケア	山地亜希
O-36 日本・中国間の家族観および家族看護実践に関する文化差の検討：中国人看護師へのインタビュー調査から	辻村真由子
O-37 小児看護師の家族とのパートナーシップの実態と関連要因(第1報)—「あるべき意識」と「行動意識」—	山口智治
O-38 FOP（進行性骨化性線維異形成症）患児の異所性骨化に伴う家族の体験	桑田弘美

9日（日）14時00分～14時50分 第3会場

口演10 健康問題をもつ人と家族

座長：池添志乃（高知県立大学）

辻村真由子（千葉大学）

演題番号・演題名	発表演者
O-39 ひきこもり(不登校)の子どもの母親の主観的認識を支えるソーシャルサポート（Part 2）	出田聡子
O-40 脳血管障害による後遺症をもつ人の家族の Mastery—家族の確かさに焦点を当てて—	小松弓香理
O-41 在宅で療養している一人暮らしのがん患者の体験	孝壽香織
O-42 認知症高齢者を介護する家族の感情労働に関する研究	角野加恵子
O-43 意思表示できない脳血管疾患患者の高齢配偶者が行う代理意思決定	青木頼子
O-44 三次救急看護師による終末期の家族ケアの前提となるもの	佐竹陽子

9日（日）15時00分～16時20分 第3会場

日本家族看護学会第19回学術集会 一般演題プログラム

示説1 研究方法・子どもと家族

8日(土) 15時30分～16時10分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-01 家族システムユニットが曝露する“家族イベント”の概念分析	高谷知史
P-02 わが国の家族看護研究におけるナラティブ・アプローチ研究の臨床適用可能性の検討	藤井淳子
P-03 家族環境アセスメント指標 (FEAI) と家族内部環境地図 (FIEM) を用いた家族インタビューの有効性の検討	佐藤直美
P-04 病気をもつ子どもの家族の家族機能に関する研究ー病気の子どものもつ家族の家族機能とストレスとの関連	三木周
P-05 健康問題のある子どもとその家族のレジリエンスに関する文献検討	竹村淳子
P-06 病気や介護を要する家族メンバーをもつ家族の家族機能の特徴	杉本晃子
P-07 摂食障害児の IPE 家族ケアモデル構築に向けた基礎調査 (その1) 家族の態度が好転した支援と困難感	村上礼子
P-08 摂食障害児の IPE 家族ケアモデル構築に向けた基礎調査 (その2) 医療連携における養護教諭の意向	渡邊久美

示説2 子どもと家族

8日(土) 16時10分～16時50分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-09 子どもの発達の問題を告げられた両親の関係とその関係の変化に関する研究	山田純子
P-10 ダウン症の子どもをもつ親への支援についてー母親への調査からー	中北裕子
P-11 子どもの発達に気がかりをもつ母親が捉える家族の反応と家族から得られたサポート	田口美喜子
P-12 療育施設に通う子どもの母親が抱く育児への肯定感に関連する要因	赤羽根章子
P-13 発達障害児の保護者・家族に対する保健師による子どもの発達障害の受容支援	子吉知恵美
P-14 医療的ケアが必要な子どもをもつ養育者が在宅療養を受け入れるプロセスにおける看護支援の検討	馬場恵子
P-15 重症先天性心疾患の子どもがひとり立ちするまでに育てた母親のライフストーリー	北村千章
P-16 重症先天性心疾患の子どもを亡くした父親にとっての子どもと過ごした体験	西條竜也

示説3 親になる人と家族

8日(土) 16時50分～17時30分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-17 母親学級参加者における心の健康状態の把握と早期支援への検討	佐藤真以子
P-18 母乳育児を行う初産婦の情緒的側面に作用した家族のかかわり	水谷さおり
P-19 出産後の夫婦の相互作用を促す看護支援のあり方ー両親学級への新しい提言ー	塩野悦子
P-20 離島に住む子育て期のひとり親家族の家族機能：SFE (家族環境評価尺度) を用いた都市部に住む家族との比較	平谷優子
P-21 母親の育児不安と父親の育児・家事参加頻度とその満足度との関連について	黒崎真由
P-22 重症の精神疾患を有する母親の母親役割の認識の特徴	上野里絵
P-23 予後告知を受けたがん患者が子どもへの想いをサポートブックに託した事例	柴田亜弥子
P-24 子どもを亡くした遺族を支援するスタッフの初期の体験	大久保明子

日本家族看護学会第19回学術集会 一般演題プログラム

示説4 死別と家族

9日(日) 13時00分～13時40分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-25 レジリエンスを高めるための看護介入の検討～クリティカルケア領域での代理意思決定場面に焦点をあてて～	松本修一
P-26 熟練看護師による家族の意思決定に関わるタイミングの見極めの特徴	今井美佳
P-27 集中治療室で亡くなった患者の家族と共に行う死後のケア	犬飼智子
P-28 ターミナル期の患者のいる家族の悪循環の要因と特徴	正野逸子
P-29 がん終末期の療養場所における家族の意思決定支援で学んだこと	齋藤華
P-30 訪問看護師が支援困難と捉えた終末期がん利用者の介護力および家族構成別にみたケアの特徴	古瀬みどり
P-31 胃ろう栄養中の意思疎通困難患者をもつ家族が「口から食べさせる」という意思決定に納得するまでのプロセス	山田直子
P-32 「口から食べさせたい」という強いニーズを持つ意思疎通困難患者の家族を通して『食べること』の意味を問う	山田直子

示説5 介護している家族への支援

9日(日) 13時40分～14時20分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-33 在宅での看取りを行った家族に対する訪問看護師のグリーフケアの意義 一家族の受けとめに焦点をあてて一	河原智江
P-34 男性介護者が介護生活をのり越えられたと捉えた内容の検討 一夫の妻への介護の振り返りを通して一	長澤久美子
P-35 レスパイト入院を利用する家族の介護休養を考える-神経難病患者を抱える主介護者へのインタビュー調査-	内海貴子
P-36 ピアサポーターの関わりによる介護者の意識の変化一認知症高齢者の家族介護者を対象として一	依田純子
P-37 介護生活評価指標に基づく介護家族の類型化	堀口和子
P-38 冠動脈インターベンションを受けた虚血性心疾患男性患者の配偶者における体験	松浪容子
P-39 糖尿病患者の食行動変容過程における家族の関わり	谷山牧
P-40 専業主婦である女性の自己認識に関する研究	小野智佐子

示説6 教育・高度実践

9日(日) 14時20分～15時00分 ポスター会場

演題番号・演題名	発表演者
P-41 がん患者の在宅移行期における必要な連携情報	佐藤加奈子
P-42 我が国の集中治療室における面会の実態(第1報)	百田武司
P-43 「外来採血時の家族参加」導入後の家族への意識調査	彦坂恭子
P-44 乳幼児のベッド転落と母親の疲労についての一考察	山下麻実
P-45 看護基礎教育における家族看護に関する概念及びNICについての学生の理解度と授業内容からの考察	瓜生浩子
P-46 専門病院における看護部による家族看護学導入への取り組み	松井美和子
P-47 退院支援研修における家族看護方法の学習効果の検討	伊藤隆子
P-48 家族看護の高度実践看護師が行う援助プロセスの特質	阪野有紀